
君と二人で

明日香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君と二人で

【Nコード】

N07880

【作者名】

明日香

【あらすじ】

ただ何も無い、暗い道を独りで歩き続けている。

オレハ永久ニ孤独ナノ？

（前書き）

愛衣さんリクのBLあり天国小説です！
素敵リクをありがとう！

ただ何も無い、暗い道を独りで歩き続けている。

コツコツと響き渡る自分の足音だけを聞きながら。

この永遠終わりのないこの暗い道を、オレはただひたすら歩いていく。

あるはずのない、終わりを求めて――。

「・・・う！大王！」

職務中に寝てしまったらしいオレは君の少し怒りが混ざった声で起きた。

「職務中に寝るなんていい度胸ですね・・・！」

「ちよっ・・・待って・・・！！」

君は容赦なく自慢の爪でオレを刺す。

「これはリアルに死んじゃうって……。」

「大丈夫です。死んでも迎えに行きますから。それに……。」

貴方は死なないでしょう？

この言葉がオレの胸に深く突き刺さった。

そう、オレは死なない。

いや、死ねないんだ。

だから、あの夢の通り永遠に独りでこの暗い世界で生き続けなければいけない——。

そう思うと急に悲しくなった。

「・・・・大王？」

急に黙り込んだオレを鬼男くんは心配したらしく、君は不安げな声でオレの名前を呼んだ。

「・・・・鬼男くん。」

「はい。」

「オレはずっと、独りぼちなのかな・・・・？」

「・・・・・・は？」

「オレはこの暗い世界で永遠に生きてかなくちゃいけない・・・・。でも君や周りの人間は一定の時間が過ぎれば輪廻の輪に入り、オレの元から離れていっちゃう。だからオレは永遠に独りで――
――」

「馬鹿なこと言わないでください!!」

君が声を荒げた。

君がここまで怒ったのをオレはみたことがなかったなのでオレは呆気にとられてしまった。

「おに・・・お・・・くん？」

「確かに・・・僕はいずれは輪廻の輪に入り貴方の元を離れていつてしまう・・・でも！！・・・また・・・必ず戻ってきます！何度生まれ変わっても・・・絶対に・・・！！だから貴方は独りぼっちなんかじゃない！独りぼっちなんかにはさせない！！」

そういつて君はオレを力強く、痛いほどに抱きしめた。

こんなこと、無理なこともわかってる。

鬼男くんが輪廻の輪に入ってしまったえば今までの記憶はすべて無くなってしまう。

オレのことも、すべて。

きつと鬼男くんもわかっているだろう。

君の頬に伝う涙がそう語っている。

それでも・・・・・・・・嬉しかった。

オレは独りなんかじゃないんだ。

オレのことを思い、そばにいてくれる人がいる。

抱きしめられた温もりからそう感じた――。

ただ何も無い、暗い道を歩き続けている。

でも、独りではない。

隣に君がいる。

コツコツと響き渡る自分の足音と、それに合わせるように響く君の足音を聞きながら。

この永遠終わりのないこの暗い道を、オレはただひたすら歩いている。

あるはずのない終わりを求めて、君と二人で――

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0788o/>

君と二人で

2010年10月28日05時29分発行